

## 第75回一般社団法人日本めまい平衡医学会代議員総会議事録

日 時：平成28年10月26日（水）14時15分～15時30分  
 場 所：大阪国際会議場 会議室1003

定時代議員総会を開催する。議決権のある代議員総数68名。出席代議員数（委任状による11名を含む）63名。

以上の通り代議員の出席があったので、定款の規定により、理事長・鈴木 衛が議長として、本代議員総会は適法に成立した旨開会を宣し、議事録署名人として代議員より小林泰輔会員、大塚康司会員を指名承認して議事に入った。始めに第75回学術講演会会長・土井勝美会員より挨拶があった。

### 1. 平成28年度事業報告に関する件

- 1) 第74回総会および学術講演会を平成27年11月25日（水）～27日（金）に伊藤八次会長の下に岐阜市で開催した。
- 2) 代議員会および専門会員の会を平成27年11月25日（水）に岐阜市で開催した。
- 3) 役員の改選を行った。
- 4) 学会運営のための理事会及び持ち回り理事会を計9回開催した。
- 5) 第33回医師講習会を平成28年7月7日（木）～9日（土）に東京都・矢部多加夫会員の担当により東京都で開催した。
- 6) 第46回平衡機能検査技術講習会を平成28年7月11日（月）～15日（金）に富山大学・將積日出夫会員の担当により東京都で開催した。
- 7) 夏期セミナーを平成28年7月23日（土）に東京都で開催した。
- 8) 編集委員会を6回開催し、EQUILIBRIUM RESEARCH 第74巻5号～第75巻4号を発刊した。
- 9) 専門会員の資格審査を行い、江上直也、晝間 清の2名を承認した。
- 10) めまい相談医52名を承認し、本制度に関わる事業を推進した。
- 11) 学会賞を授与した。
- 12) めまい疾患診断基準について協議した。
- 13) 検査機器の規格や使用マニュアルについて協議した。
- 14) 保険改訂要望項目を提出した。
- 15) めまい診療に関する用語の取り扱いについて検討した。
- 16) 日本耳鼻咽喉科学会主催による「関連する学会会議」に出席し、関連学会との連絡をはかった。
- 17) バラニー学会等、海外の関連学会との連携をはかった。
- 18) 平成28年度入会承認者数80名、退会者数42名と1社で、平成28年8月31日現在における会員総数は1,831名。その内訳は正会員1,761名、名誉会員15名、発表会員44名、賛助会員11社である。  
 以上が、庶務・宇佐美理事より報告された。

### 2. 平成28年度 貸借対照表及び正味財産増減計算書に関し、承認を求める件

経理・飯田理事より説明報告があり、深谷監事により平成28年9月23日に事業及び会計監査を行ったことが報告され、満場異議無く承認された。

### 3. 平成29年度事業計画報告

- 1) 第75回総会および学術講演会を平成28年10月26日（水）～28日（金）に土井勝美会長の下に大阪市で開催する。
- 2) 第76回総会および学術講演会を平成29年11月29日（水）～12月1日（金）に宇佐美真一会長の下に軽井沢町で開催する準備を行う。
- 3) 学会運営のための理事会を適宜開催する。
- 4) 代議員総会および専門会員の会を平成28年10月26日（水）に大阪市で開催する。
- 5) 代議員選挙を行う。

Equilibrium Res Vol. 76(2)

- 6) ワークショップを必要に応じ開催する。
  - 7) 第34回医師講習会を平成29年7月13日(木)～15日(土)に神戸市立医療センター中央市民病院・内藤泰会員の担当により、神戸市で開催する。
  - 8) 第47回平衡機能検査技術講習会を平成29年8月7日(月)～11日(祝・金)に埼玉医科大学・伊藤彰紀会員の担当により、東京都で開催する。
  - 9) 夏期セミナーを平成29年7月22日(土)に東京都で開催する。
  - 10) EQUILIBRIUM RESEARCH 第75巻5号から第76巻4号を発刊する。
  - 11) 専門会員の資格審査を行う。
  - 12) めまい相談医の承認を行い本制度に係わる事業を推進する。
  - 13) 学会賞を選考する。
  - 14) めまい疾患診断基準の改訂を推進する。
  - 15) 検査機器の規格や使用マニュアルについて協議する。
  - 16) 保険改訂要望項目について協議する。
  - 17) 各種委員会(編集委員会、学会のあり方委員会、渉外広報委員会、医療保険委員会、診断基準化委員会、セミナー委員会、めまい相談医制度運営委員会、国際学術委員会、用語委員会、疫学委員会)を適宜開催する。
  - 18) 日本耳鼻咽喉科学会主催による「関連する学会会議」に出席し関連学会との連絡をはかる。
  - 19) 海外の関連学会との連絡をはかる。
  - 20) その他学会の運営に必要な事業を行う。
- 以上が庶務・宇佐美理事より報告された。
4. 平成29年度収支予算書報告  
平成29年度収支予算書及びその内訳が経理・飯田理事より報告された。
  5. 委員会報告及び承認
    - 1) 専門会員資格審査委員会より(宇佐美・肥塚・山唄各理事)  
専門会員資格審査委員会による審査を経て理事会からの推薦により、許斐氏元会員と菅原一真会員が新専門会員として承認された。
    - 2) めまい相談医制度運営委員会より(土井・室伏各理事)  
運営委員会による審査を経て理事会からの推薦により、今年度49名の会員がめまい相談医として承認された。
    - 3) 学会のあり方委員会より(宇佐美・内藤・室伏各理事)  
急性めまい診断フローチャートを作成し今後公開する予定である件とめまいの検査やりハビリテーション治療における医師以外の医療者による関与について検討を重ねる。
    - 4) ER誌編集委員会より(伊藤・山下各理事)  
3年間の投稿数は平均28編であり、投稿から掲載までは約半年、受理から掲載までは約3か月の工程で編集作業が進んでいる。
    - 5) 渉外広報委員会より(肥塚・山唄各理事)  
学会ホームページの記事内容の整理作業を進める。
    - 6) セミナー委員会より(宇佐美・肥塚・山唄各理事)  
来年の夏期セミナーのテーマに「平衡リハビリの基礎と臨床」を予定している。
    - 7) 診断基準化委員会より(武田・池園・伊藤各理事)  
各診断基準や平衡機能検査標準化資料の改訂作業を進める。また国際学術委員会と連携し、海外の診断基準も収集、英訳や比較研究を進める。また『「イラスト」めまいの検査』本の改訂を進める。
    - 8) 国際学術委員会より(内藤・池園各理事)  
韓国平衡学会やバラニー学会、国際メニエール病学会等との交流を進め、IFOS2017(第21回世界耳鼻咽喉科世界大会)でラウンドテーブルを組むことについて検討中である。また中国との交流に向けて情報収集する。

- 9) 用語委員会より (山下理事)  
以下の用語について決定した。

垂直眼振の記載法



下眼瞼向き左向き垂直回旋混合性眼振

ENG の記載法

電気眼球運動図	electrooculogram	
電気眼振計	electronystagmograph	
電気眼振図	electronystagmogram	以上は、日耳鼻学会編用語集に添う。

electronystagmography は、『電気眼振法』とする。

今後も平衡関係の用語について検討を進める。

- 10) 疫学委員会より (將積理事)  
VEMP・vHIT 普及調査結果を会誌上で報告する。またメニエール病、遅発性内リンパ水腫の疫学調査を今年度も継続して行う予定である。新たな項目についても疫学調査をする方向で検討中である。
- 11) 医療保険委員会より (飯田・將積各理事)  
新規保険項目を要望していく。
6. 学会賞発表  
学会賞選考委員会より推薦があり、理事会にて選考した結果、阿久津征利会員 (川崎市立多摩病院) の「video Head Impulse Test, 温度刺激検査, VEMP を用いた前庭神経炎の障害部位の検討」が選出された旨の報告があり承認された。
7. 第76回 (2017年) 総会・学術講演会に関する件  
次期会長である信州大学・宇佐美真一会員より、平成29年11月29日～12月1日に軽井沢町 (軽井沢プリンスホテルウエスト) での開催に向けて準備を進めているとの説明と協力依頼があった。
8. 第77回 (2018年) 総会・学術講演会に関する件  
山口大学・山下裕司会員に決定している旨、報告された。
9. 第78回 (2019年) 総会・学術講演会会長に関し承認を求める件  
富山大学・將積日出夫会員を理事会より推薦し、承認された。
10. その他  
パラニー学会担当の伊藤壽一会員より、パラニー学会への入会に関する基準を国際学術委員会で検討する旨提案があり了承された。併せて日本の会員名簿を整えることとなった。

議長は、以上の本日の議事終了を述べ、15時30分に閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人2名がこれに記名押印する。

平成28年10月26日

第75回一般社団法人日本めまい平衡医学会代議員総会  
議長・代表理事 鈴木 衛 印  
議事録署名人 小林泰輔 印  
同 大塚康司 印